

「異分野融合による方法的革新を目指した人文・社会科学研究推進事業」進捗評価結果表

研究テーマ(領域)	日本の環境思想と地球環境問題 - 人文知からの未来への提言	
研究総括	秋道 智彌	
所属機関・部局・職	人間文化研究機構総合地球環境学研究所・研究推進戦略センター・教授	
評価区分		
	A	研究期間の延長により、優れた進展が期待できる。
	B	一層の努力を要するが、研究期間の延長により、今後の進展が期待できる。
	C	研究期間を延長しても、十分な進展は期待できない。
評価にあたっての意見		
<p>重要な研究テーマであり、個別の研究としては、既にいくつか成果を挙げているように思われる。しかしながら、本事業としての成果であるのかどうか、特に、本事業の趣旨である「異分野融合による方法的革新」を目指した研究の取り組み及びその成果が明確になっていない。また、海外調査を積極的に行っているが、その必要性及び研究への貢献度が現段階では疑問なところがある。</p> <p>今後の研究計画について、副題にあるような「未来への提言」が明確に伝わってこない。自然科学との融合研究について、対象分野は示されているが、具体的な研究計画が明確でなく、幅広い分野の融合を目指しているものの、かなりの部分は実現可能性が低いと言わざるを得ない。</p> <p>今後は、本事業の趣旨を踏まえて研究体制を整備し、「異分野融合」としての研究成果を示していただきたい。その際、融合の期待ができない組み合わせは早々に取り止め、期待が高い組み合わせに特化して実施していただく必要があると思われる。</p>		